



くらぼよとは
Collaboration
コラボレーション
(共同・協働)と
~しようよの組合せ

みんなで
男女共同参画社会実現
に向けて活動しようよ

第34号 2015・秋

相談しよう！「セクハラ」「パワハラ」

「セクハラ（セクシャルハラスメント）」とは、広い意味では相手の意に反する性的な言動をさします。職場や学校で、立場や権限を利用して、相手の意志に反して不快や不安な状態に追い込んで、性的な言葉をかけたり、行為を強要するものです。

「パワハラ（パワーハラスメント）」は、職場での立場を背景にして、継続的に人格や尊厳を侵害する言動で、就労者の働く環境を悪化させたり、雇用不安を与えたりするものです。

平成24年度の厚生労働省の調査では、過去3年間に約25%の従業員がパワハラを経験し、その内容は精神的な攻撃（名誉棄損、暴言など）や過大あるいは過小な仕事を要求するなどでした。しかしパワハラを受けた場合でも、実際に相談した人は僅か2%でした。セクハラもパワハラも被害者は、自分さえ我慢すればとか、この程度のことでなど自分を責める傾向があります。今後は被害者が安心して相談できる場所を、公的な機関や企業内などに増やすとともに、利用しやすい環境づくりをすることが必要です。三木市男女共同参画センターでもセミナーや相談を実施していますので、お気軽に参加ください。

弁護士による法律セミナー

講師：西片和代さん 受講料：無料 申込：要 託児：有り

知っておこう！ セクハラ・パワハラ

- こんなこともセクハラ？
- 自分の身を守る法的知識を身につけよう
- 職場で求められる防止対策は

11月18日（水）10:00～11:30
教育センター 4階 大研修室
対象 どなたでも（定員なし）

聞いてみよう！ 離婚・DV

- 離婚にまつわる様々な問題について
- あなたを守る法律で認められている権利とは

12月16日（水）10:00～11:30
教育センター4階 中研修室
対象 女性（先着順 30人）

女性のための相談室

毎週 火曜・木曜
10:00～16:00
• 電話相談（89-2354）
• 面接相談（予約制）
（予約 89-2331）

女性問題相談員が女性の立場に立ち、問題解決に向かえるようサポートします。

相談無料
秘密厳守



11月12日から11月25日までは「女性に対する暴力をなくす運動」期間です
夫・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。

「漢字からみる男女共同参画の歴史」

講師：森田 充代さん（古典文学講師）



9月24日（木）「まなびの郷みずほ」に沢山の参加者を迎えて、講演が始まった。タイトルの通り、漢字の話になり「男ヘンの漢字は3つ。女ヘンは30から40ある。女を使っている漢字は約900もある。これだけで、男女共同参画の話はすべてやわ！」本当にその通りだと思った。「男女共同参画とは言うけど、女男・・・とは言わない。何でも男が先」と、ここから古代のイザナギ、イザナミノミコトの時代にさかのぼり、国や家族を作っていく過程で漢字が生まれてきた歴史を語られた。

人が子どもを抱えている姿が「女」に、お乳をあげている姿が「母」になった。女の人が入って「嫁」に、家に入れて「安心」。だんだん歳を取ると「姑」に。つまり、その時代、時代の女性が男性の生活にかかわっていく中で漢字が生まれていった。また、「好き」「嫌い」「怒」とか感情的な言葉は女ヘンが多い。漢字には中国から入ってきたものと、日本で生まれたものがあるが、「ヘン」と「つくり」があり、「つくり」の方で意味を表す。女ヘンの字が嫌なイメージの意味が多いのは、漢字は男性社会から生まれたという事の現れか。

意思表示の手段として日頃から何気なく使っている「文字」に、古代からの根深い男女差がある事を学び、参加された皆さんが「男女共同参画」を考えるきっかけになったのではないだろうか。



漢字について考えてみると



良くない意味の女ヘンの漢字は、児童が学んだり、大人が書いたり読んだりする過程で、良くない意味と女が視覚的に結びつくことによって脳裏に「女性蔑視」「女性差別」意識を植え付ける危険性をはらんでいる。例えば、「嫌」は元々、他人に対する不信を表したり、女が気兼ねして実行を渋るところからきたとはいえ、女に限るわけではない。小寺初世子氏は、著書※『女性差別をなくすために』の中で「嫌→悲」「妬→妬」「妨→方」等、女ヘンを、人を表わすニンベンや、心を表わすリッシンベンやシタゴコロなどに変えることを提案している。これは、今では女ヘンが使われなくなった「淫」「悩」のように、時代の要請でもある。

「嬬」、「媠」どちらも「なぶる」と読むが、右の漢字の意味は女二人で男を悩ます意味だそうで、今なら両手に花ととらえることも。「姦」は、みだら、よこしま、男女の不義以外にかしましいという意味もある。それなら「男男」は、むさくるしいと読んでみようか。

男のつく字、女のつく字を考えてみるとおもしろい。媠なら箱入娘、男なら四面楚歌？「男」は口先だけの男、「女」はおしゃべりと読むなど、男とは、女とはというイメージで作ることになるので、作り手、読み手のジェンダー意識が問われるだろう。

※『女性差別をなくすために』は、三木市男女共同参画センターにて貸出ししています。

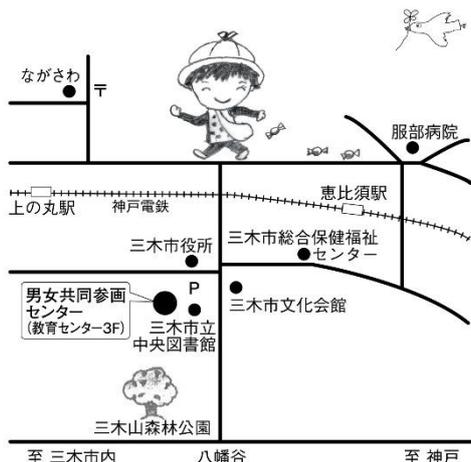
※Happy! おしゃべりサロン※ あんな話題 こんな話題 話しましょう♪～♪

日時 11月21日（土）13：30～15：00 参加費 100円（お茶とお菓子つき）
場所 こらぼーよフリースペース 主催 みず・みきず（参画センター登録グループ）

三木市男女共同参画センター
愛称 こらぼーよ

三木市福井1933-12
三木市立教育センター3階
(三木市立中央図書館横)

TEL&FAX 0794-89-2331
開館時間 9：00～17：00
休館日 土・日・祝日・年末年始



編集後記

秋と言えば祭りです。子どもの頃からお祭りが近くなってくると、ドキドキした緊張感がありとても楽しみでした。やはりお祭りは、老若男女を問わずいつの時代でもいいものですね。

Gomozou



企画編集：情報誌こらぼーよ編集グループ
発行：三木市男女共同参画センター